



広島テレビ放送株式会社(本社:広島市東区二葉の里3-5-4 代表取締役社長:飯田政之)は、来年の被爆80年に向けて、「NEVER AGAIN~つなぐヒロシマ 被爆80年~」キャンペーンを始めます。

世界ではロシアによるウクライナ侵攻という国家間戦争が再び起こり、イスラエルとパレスチナの戦闘も続いています。核の脅威が高まる今だからこそ、被爆の実相を世界に訴えたいと考えています。被爆者の平均年齢は85.58歳。直接、被爆体験を聞く機会が少なくなっています。広島テレビは、少しでも記憶を未来につなげていくため、「NEVER AGAIN(過ちを二度と繰り返してはいけない)」とのメッセージを多様な形でお伝えします。

■ドキュメント番組「キノコ雲の上と下」

79年前の原爆投下直後、キノコ雲の上と下で何があったのか。被爆者と原爆を投下したアメリカ兵が戦後抱えた苦悩と葛藤に迫ります。双方の視点から、平和公園の原爆慰霊碑に記された「過ちは繰り返しませんから」というメッセージの意味を考えます。

第一回放送 2024年8月25日(日)6時30分~7時25分

■折り鶴プロジェクト

2歳で被爆し、10年後に白血病で亡くなった佐々木禎子さん。鶴を千羽折れば願いが叶うと信じて折り続けた物語は世界中に知られています。広島テレビでは昨年のG7広島サミットの際も折り鶴プロジェクトを実施し、約6万羽を集めました。被爆80年を来年に控え、様々な人たちに平和を祈る鶴を折っていただき、被爆80年へのメッセージとともに紹介していきます。また、収集した折り鶴を活用したイベントなども計画しています。

■記憶の解凍プロジェクト

AI技術を活用して被爆前後の白黒写真をカラー化したのち、戦争体験者との対話などをもとに「記憶の色」をよみがえらせる「記憶の解凍」という取り組みがあります。広島テレビは、それに賛同し、番組やイベントを通して、被爆者の「想い・記憶」を次世代につなぎます。

■「いしぶみ」コミック化

旧制県立広島二中の1年生321人が亡くなるまでを、遺族の手記をもとにまとめたドキュメンタリー「いしぶみ」(1969年広島テレビ制作)は、芸術祭優秀賞など多数の賞を受賞しました。2015年の被爆70年に綾瀬はるかさん出演でリメイクし、全国放送および映画化されました。来年の被爆80年に向けて、この「いしぶみ」をコミック化し、若い世代へ伝えていきます。

リリースに関するお問合せ先

広島テレビ放送(株) 編成戦略局 編成戦略部(担当:大瀧・中村) TEL:082-207-0409 FAX:
082-567-8621 E-mail:senden@htv.jp

